

令和4年度

事業計画書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月 31日

I 一般概要

(令和3年度の景況と令和4年度の見通し)

我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響の下にあるが、令和3年9月末をもって、緊急事態宣言は解除され行動制限も段階的に緩和されてきたこと等から、厳しい状況は徐々に緩和されており持ち直しの動きがみられてきた。政府は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を策定し着実に実行することを通じて、経済を自律的な成長軌道に乗せることとしている。こうした下で、令和3年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は2.6%程度、国民の景気実感に近い名目国内総生産（名目GDP）成長率は1.7%程度となり、GDPは令和3年度中に感染拡大前の水準を回復することが見込まれる。また、消費者物価（総合）変化率は▲0.1%程度と見込まれる。

令和3年次の新設住宅着工戸数は、持家は前年比9.4%増と昨年の減少から再びの増加、貸家は前年比4.8%増と4年ぶりの増加、分譲住宅は前年比1.5%増と昨年の減少から再びの増加、と全体で前年比5.0%増の85.6万戸となり、5年ぶりの増加となった。

令和4年度の経済見通しについては、「経済対策」を迅速かつ着実に実施すること等により、実質GDP成長率は3.2%程度、名目GDP成長率は3.6%程度と見込まれている。また、消費者物価（総合）変化率は、0.9%程度と見込まれている。ただし、引き続き、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、新たな変異株による感染が年明けから拡大していることから、感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

令和4年度の民間住宅投資については、緩和的な金融環境の下、おおむね横ばいで推移する（対前年度比0.9%程度の増）と見込まれている。

(令和4年度の本会の業務運営)

令和4年度においては、上記の経済環境や木材産業を取り巻く景況等を踏まえ、次の事項に重点を置き円滑かつ効率的に事業を実施していく。

- ① 公益性の発揮を推進するため、公益目的事業であるJAS事業の普及と業務量の受注に努める。
- ② 安定的な収入の確保を図るため、収益事業である受託事業の一層の拡大を図る。
- ③ 業務の円滑かつ効率的な推進を図るため、業務の改善や職員間の業務連携の強化に努める。
- ④ 職員研修の実施、関係資格の取得等マンパワーの充実に努める。
- ⑤ 市場に流通するJAS製品の買い取り調査等を通じて、JAS制度の妥当性の検証に努める。
- ⑥ クリーンウッド法に基づく登録実施機関として、木材関連事業者の登録事務を推進する。

II 事業別計画

1 JAS事業

認証計画は、新規申請として10工場を見込んでいる。

これらの認証申請工場及び既認証工場の変更申請に伴う審査、製品検査については、申請の内容を勘案して件数金額を設定した。

認証工場の監査等に伴う収入は、認証工場数を基にした計画とした。

講習・研修については、新型コロナウイルス感染症の影響で未実施のものを含め、昨年度の162%とした。

また、格付のための検査は、件数、金額共に前年度比101%の計画とした。

(1) 新規工場の認証

区 分	令和4年度計画 (A)		令和3年度計画 (B)	
	工場数	うち海外	工場数	うち海外
普通合板	2	2	3	2
天然木化粧合板	0	0	0	0
単層フローリング	0	0	0	0
複合フローリング	0	0	0	0
集 成 材	3	1	6	3
単板積層材	1	1	1	1
構造用パネル	0	0	0	0
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	1	0	0	0
直交集成板	1	0	0	0
接着たて継ぎ材	2	0	0	0
合 計	10	4	10	6

注1：普通合板には、コンクリート型枠用合板及び構造用合板を含む。以下同じ。

注2：天然木化粧合板には、特殊加工化粧合板を含む。以下同じ。

(2) 認証審査に伴う製品検査

区 分	令和4年度計画 件数(A)	令和3年度計画 件数(B)
普通合板	19	19
天然木化粧合板	2	2
単層フローリング	0	0
複合フローリング	12	10
集 成 材	33	48
単板積層材	6	10
構造用パネル	0	0
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	5	2
直交集成板	12	10
接着たて継ぎ材	6	0
合 計	95	101

(3) 認証工場の監査

区 分	令和4年度計画 件数(A)	令和3年度計画 件数(B)	対前年度比 (A)/(B)
普通合板	65	64	102%
天然木化粧合板	72	76	95%
単層フローリング	13	13	100%
複合フローリング	43	43	100%
集 成 材	162	161	101%
単板積層材	22	21	105%
構造用パネル	1	2	50%
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	8	8	100%
直交集成板	10	9	111%
接着たて継ぎ材	1	0	—
合 計	397	397	100%

(4) 講習・研修会

認証の技術的基準に基づく、下記の講習・研修を行う。

- ・品質管理責任者講習会
- ・製品の板面の品質検査担当者選別研修会
- ・格付担当者格付講習会
- ・格付検査担当者技能研修会
- ・格付責任者格付講習会

講習・研修受講人数

種 類	令和4年度計画 人数(A)	令和3年度計画 人数(B)	対前年度比 (A) / (B)
合 板	159	102	156%
フ ロー リ ン グ	48	53	91%
集 成 材	190	81	235%
単 板 積 層 材	25	18	139%
構 造 用 パ ネ ル	0	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	6	10	60%
直 交 集 成 板	8	11	73%
接 着 た て 継 ぎ 材	9	0	—
合 計	445	275	162%

(5) 認証業務収入

区 分		令和4年度 計 画 千円 (A)	令和3年度 計 画 千円 (B)	対前年度比 (A) / (B)
認証手数料	普 通 合 板	22,480	22,310	101%
	天 然 木 化 粧 合 板	20,680	21,810	95%
	単層フローリング	4,120	4,120	100%
	複合フローリング	12,950	12,810	101%
	集 成 材	52,450	53,480	98%
	単 板 積 層 材	6,760	6,640	102%
	構 造 用 パ ネ ル	280	570	49%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	3,140	2,650	118%
	直 交 集 成 板	3,430	2,940	117%
	接 着 た て 継 ぎ 材	1,350	0	—
	小 計	127,640	127,330	100%
その他手数料	製 品 検 査	7,470	8,500	88%
	出 張 手 数 料	16,780	16,680	101%
	講 習 ・ 研 修 会 手 数 料	7,660	5,710	134%
	証 明 手 数 料	0	0	—
	小 計	31,910	30,890	103%
合 計		159,550	158,220	101%

注) 認証手数料とは審査料、監査料、認証料、認証登録料、比較検査料の事である。

(6) 検査

検査件数

区 分	令和4年度計画 件数(A)	令和3年度計画 件数(B)	対前年度比 (A)/(B)
普通合板	1,220	1,150	106%
天然木化粧合板	790	820	96%
単層フローリング	180	180	100%
複合フローリング	990	980	101%
集成材	950	1,020	93%
単板積層材	220	190	116%
構造用パネル	0	0	—
枠組壁工法構造用たて継ぎ材	40	20	200%
直交集成板	70	70	100%
合 計	4,460	4,430	101%

検査収入

区 分		令和4年度 計 画 千円 (A)	令和3年度 計 画 千円 (B)	対前年度比 (A)/(B)
受託検査手数料	普通合板	76,600	74,570	103%
	天然木化粧合板	33,120	34,400	96%
	単層フローリング	7,600	7,610	100%
	複合フローリング	31,700	31,430	101%
	集成材	122,410	122,190	100%
	単板積層材	18,720	17,540	107%
	構造用パネル	740	1,490	50%
	枠組壁工法構造用たて継ぎ材	3,300	2,610	126%
	直交集成板	5,850	5,560	105%
	接着たて継ぎ材	1,220	0	—
	小 計	301,260	297,400	101%
その他手数料	出張手数料	32,900	32,560	101%
	証明手数料	240	230	104%
	小 計	33,140	32,790	101%
合 計		334,400	330,190	101%

(7) 調査研究事業

① 試験事業

- ア 研究室及び各検査所試験室の試験器具の充実を図ると共に、多様化する木質系製品の各種性能試験の受託に努める。
- イ 改正日本農林規格及び検査方法に係る審査基準の妥当性を検証する。

② 調査事業

- ア 市販されているJAS製品の買い取り調査を行い、品質の把握に努める。
- イ 登録認証機関として本会がJAS認証した製造工場が行うJAS格付数量を収集し、検査統計等を作成する。

③ 普及・宣伝事業

- 下記のJAS製品の認知度を高めるPRをはじめとして、関係省庁及び関係団体が主催するイベント等に参加するとともに、配布用PR資料の整備に努める。
- ア JAS制度及びJAS製品のPR資料を作成し、ユーザー等に提供する。
- イ ホームページ等にて、関連情報を充実し、ユーザー等に提供する。
- ウ JAS協会活動への協力
- エ 認証工場名簿を製作、冊子の発行、配布に加えホームページに掲載し、認証工場の異動状況により更新してホームページに掲載する。
また、検査会だよりを発行し、直近の異動状況に掲載する。

④ 研修事業

- 認証審査・監査及び検査業務を的確に行うため、職員の研修を実施する。

2 受託事業

ホルムアルデヒド放散量試験等に係る受託は、件数及びその収入共に約2%減の計画とした。

また、優良木質建材等認証事業（AQ事業）に係わる受託は、次年度は受託の減少により件数で65%、収入で73%の計画とした。

クリーンウッド法登録事業においては、制度の周知は進んでいるものの、登録までつながっていないことから、問合せの件数等を勘案して、計画を策定した。

(1) 受託試験

受託件数

令和4年度計画 件(A)	令和3年度計画 件(B)	対前年度比 (A) / (B)
4,860	4,980	98%

受託収入

令和4年度計画 千円(A)	令和3年度計画 千円(B)	対前年度比 (A) / (B)
121,220	123,090	98%

(2) 優良木質建材等認証事業（AQ事業）

受託件数

令和4年度計画 件(A)	令和3年度計画 件(B)	対前年度比 (A) / (B)
24	37	65%

受託収入

令和4年度計画 千円(A)	令和3年度計画 千円(B)	対前年度比 (A) / (B)
3,460	4,710	73%

3 クリーンウッド法登録事業

登録件数

令和4年度計画 件(A)	令和3年度計画 件(B)	対前年度比 (A) / (B)
285	279	102%

注) 登録件数には新規登録件数、登録事項変更件数、年会費の件数を含む。

登録収入

令和4年度計画 千円(A)	令和3年度計画 千円(B)	対前年度比 (A) / (B)
3,550	3,000	118%

注) 登録収入には新規登録手数料、登録事項変更手数料、更新料、年会費を含む。

Ⅲ 総務関係

1 会議等開催計画表

会議の名称	開催予定回数	開催地
理事會	3	東京都
評議員會	1	〃
JAS認証審査委員會・分科會	5	〃
所長會	3	〃
担当者會	1	〃

2 試験機器等

(1) 購入計画（主要機械）

機器名	数量	備考
—	—	—

(2) 校正等計画

機器名	数量
引張り試験機	10
曲げ試験機	21
分光光度計	1
ガスクロマトグラフ	1
高速液体クロマトグラフ	1
原子吸光光度計	0

3 人員構成表（令和4年度計画）

区分	常勤役員	技術職員	事務職員	計
本部	3 (2)	8 (8)	1	12 (10)
研究室		1 (1)		1 (1)
北海道検査所		3 (3)	1	4 (3)
東北検査所		5 (3)	1	6 (3)
東京検査所		5 (5)	1	6 (5)
名古屋検査所		6 (4)	1	7 (4)
大阪検査所		6 (5)	1	7 (5)
中国検査所		3 (3)	1	4 (3)
九州検査所		4 (4)	1	5 (4)
計(A)	3 (2)	41 (36)	8	52 (38)
R3.4.1現在(B)	3	41	8	52
増減(A)-(B)	0	0	0	0

注) () はJAS認証業務の資格を有する者（内数）